

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,347	1.4	1,097	328.5	433	—	268	—
28年3月期第2四半期	31,894	4.8	256	118.1	△865	—	△742	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,785百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △5,393百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.76	—
28年3月期第2四半期	△15.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	85,221	37,922	43.5
28年3月期	89,081	39,932	43.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 37,104百万円 28年3月期 38,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
29年3月期	—	3.75	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,500	1.4	2,400	48.0	1,300	327.8	850	—	18.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	49,209,846 株	28年3月期	49,209,846 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,562,148 株	28年3月期	2,560,975 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	46,648,216 株	28年3月期2Q	46,652,069 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が見られ緩やかな回復基調が続いているものの、世界的には英国のEU離脱問題や各国での紛争等による不安定な状況の影響もあり、国内では円高傾向による輸出企業への景気の下振れ要因や株価低迷など、景気の先行きについては依然として不透明な状況で推移いたしました。

住宅業界におきましては、マイナス金利導入による住宅ローンの金利低下も相まって、新設住宅着工戸数は前年同期比で増加傾向にあり、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅は、前年同期比プラス基調となりました。

当社グループは、2014年以降を『第三の創業』とし、これまで培ってきたDNAを土台とし、当社がニュージーランドで育林するニュージーパインやその他国内外で調達する無垢材を主体とした新商品を武器として、国内においては新築戸建市場に加えてリフォーム、非住宅、DIYなどの新市場、海外においては、インドネシアをはじめとするアジア圏の市場を開拓するなど、今後の劇的な環境変化にも対応し得る体制を構築し、当社グループの独創的な市場を創造して、グローバルに成長していくことをめざしています。

当社グループは、環境共創企業として、これまで以上に、所有する山林資源を有効に活用した新商品の開発や業界をリードする省施工・簡単施工商品群を提案し、併せて更なる業務の効率化・コスト削減・資産の効率化等を図り、他社と差別化できる無垢商品群を武器に新しい顧客開拓にも注力しています。

また、主要都市に開設したショールームを活かし、無垢の木のキッチン「スイージー」を主体に、床材、内装建具などに加え「無垢の木の洗面台」「スイージーファニチャー」「無垢の木の収納」等の商品を組み合わせ、トータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現し、無垢キッチン・無垢商品等の品ぞろえを広げ、販売を強化しています。

これらの結果、連結売上高は、32,347百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,097百万円（前年同期比328.5%増）、経常利益は433百万円（前年同期は経常損失865百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は268百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失742百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅建材設備事業

住宅建材では、前年同期に比べ建具・床材・収納等の内装材の売上が増加しました。また、コスト削減と採算性の向上等の効果もあり、利益率が上昇しました。壁紙に代わり、意匠性が高く、個性豊かな住空間の提案が可能な「デザインウォール」の発売及び販売促進に努めました。「デザインウォール」は、ニュージーランドで計画的に植林、育林したニュージーパインの無垢材を基材とし、表面にはうづくり仕上げなどの特徴的なデザインを施し、木の風合いを目と肌で味わうことができ、9デザイン、6カラーを用意し、お客様のニーズに合った木の住空間を提案する商品です。また、省エネ・省施工商品として木製内窓「MOKUSASHI」、省施工の断熱改修用パネル「あったかべ」、既存のフロアを剥がさずその上に施工できる「無垢フローリングピノアース6mm」やインテリア性の高い上質な空間を提案する「デザイン階段」や室内ドア「ソフトアートシリーズE type」、箱型収納・棚板・金物を自由に組み合わせオリジナル収納がつけれる「無垢の木の収納」等の様々な商品展開を行い、拡販に努めました。

住宅設備機器では、前年同期に比べ主に4つの樹種の無垢扉を選べる無垢の木のキッチン「スイージー」の売上が増加し、木のぬくもりを感じる「無垢の木の洗面台」、手で“触れたくなる”ような木の質感が漂う「スイージーファニチャー」など、無垢の木の強みを活かした商品とともに住宅の室内ドアや床材などの内装材とトータルコーディネートを提案することで相乗効果を図っています。平成28年8月において黒の鉄と無垢の木の棚板を組み合わせたシンプルでスタイリッシュな新発想のキッチン「フレームキッチン」を新たに発売しました。

また、FSCの森林認証材であるLVL等の構造材を使用し、高い耐震性能を担保した大空間や次世代型高性能住宅を実現する新システム「ワンズキューボ」の普及や長期優良住宅等の各種認定申請支援業務を行うとともにLVLの特徴を活かした非住宅市場への拡販を進めています。平成28年10月には「高性能+デザイン+住まい方、愛着を育む本物の木の家を1500万円を実現」をデザインコンセプトとした「ワンズキューボ1500セレクション」が2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。当社では今回の受賞を契機に無垢内装建材、無垢キッチン、JWOOD LVL構造材等の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に努めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における住宅建材設備事業は、売上高が31,753百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益が976百万円（前年同期比579.2%増）となりました。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に木質バイオマス発電設備を導入し、電気事業者に売電を行っております。木質バイオマス発電の運営におきましては、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料として稼働しています。この結果、当第2四半期連結累計期間の発電事業は、売上高が594百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益が120百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、海外子会社の為替換算の影響もあり資産が3,859百万円減少、負債が1,850百万円減少、純資産が2,009百万円減少しました。内訳として、資産の減少は、主に現金及び預金が1,143百万円減少、棚卸資産が336百万円減少、有形固定資産が2,073百万円減少、投資その他の資産が572百万円減少したことによるものです。負債の減少は、主に電子記録債務が753百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が544百万円減少、短期・長期借入金が1,879百万円減少、繰延税金負債（固定）が244百万円減少したことによるものです。純資産の減少は、主に為替換算調整勘定が1,797百万円減少、非支配株主持分が109百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年10月28日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますので参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更等）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,978	4,834
受取手形及び売掛金	8,606	8,730
商品及び製品	4,930	4,671
仕掛品	2,214	2,152
原材料及び貯蔵品	5,758	5,742
繰延税金資産	139	217
為替予約	302	141
その他	582	851
貸倒引当金	△20	△22
流動資産合計	28,492	27,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,729	8,254
機械装置及び運搬具(純額)	7,158	6,577
土地	12,447	12,332
立木	16,283	15,477
その他(純額)	2,087	1,989
有形固定資産合計	46,705	44,631
無形固定資産	502	462
投資その他の資産	13,380	12,808
固定資産合計	60,589	57,902
資産合計	89,081	85,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,407	4,862
電子記録債務	975	1,729
短期借入金	21,207	9,612
未払法人税等	601	459
引当金	227	425
為替予約	488	502
その他	2,467	2,491
流動負債合計	31,375	20,082
固定負債		
社債	4,700	4,700
長期借入金	9,336	19,052
繰延税金負債	2,202	1,958
引当金	352	368
退職給付に係る負債	847	850
その他	333	286
固定負債合計	17,773	27,215
負債合計	49,148	47,298

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	21,047	21,140
自己株式	△2,135	△2,135
株主資本合計	33,756	33,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693	576
繰延ヘッジ損益	5	△33
為替換算調整勘定	4,612	2,815
退職給付に係る調整累計額	△111	△103
その他の包括利益累計額合計	5,198	3,254
新株予約権	197	148
非支配株主持分	779	669
純資産合計	39,932	37,922
負債純資産合計	89,081	85,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	31,894	32,347
売上原価	23,115	22,574
売上総利益	8,779	9,773
販売費及び一般管理費	8,523	8,676
営業利益	256	1,097
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	34	32
受取賃貸料	61	58
電力デリバティブ評価益	—	12
その他	57	51
営業外収益合計	159	158
営業外費用		
支払利息	274	256
売上割引	228	238
為替差損	594	115
電力デリバティブ評価損	61	—
持分法による投資損失	—	20
その他	121	190
営業外費用合計	1,280	821
経常利益又は経常損失(△)	△865	433
特別利益		
固定資産売却益	9	7
新株予約権戻入益	117	64
子会社清算益	390	—
その他	0	1
特別利益合計	516	73
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	26	7
為替差損	798	—
子会社清算損	0	6
その他	13	6
特別損失合計	839	27
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,187	479
法人税、住民税及び事業税	209	378
法人税等調整額	△451	△146
法人税等合計	△242	231
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△945	248
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△202	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△742	268

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△945	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	△116
繰延ヘッジ損益	△333	△41
為替換算調整勘定	△4,230	△1,883
退職給付に係る調整額	△10	8
その他の包括利益合計	△4,448	△2,033
四半期包括利益	△5,393	△1,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,526	△1,675
非支配株主に係る四半期包括利益	△867	△109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。